

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 16日

静岡市長
難波 喬司 殿

提出者

住所 静岡市駿河区石田1丁目3番29号

氏名 大和ハウス工業株式会社 静岡支店

支店長 渡辺 忠彦

電話番号 054-284-4811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 静岡支店
事業場の所在地	静岡市駿河区石田1丁目3番29号
計画期間	令和4年 4月1日～令和5年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D 建設業 : D06 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 : 923,413万円/年 延床面積 : 32,389 m ²
③ 従業員数	202人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	新築工事、増改築工事、解体工事 がれき類→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化 金属くず→再生処理業者に委託して金属原料として再資源化 ダンボール→再生処理業者に委託して紙原料として再資源化 紙→再生処理業者に委託してRPFとして再資源化 ※上記の品目で1部再資源化不可のものは埋立あるいは単純焼却

(日本工業規格 A列4番)



令和4年度 産業廃棄物処理計画実施状況

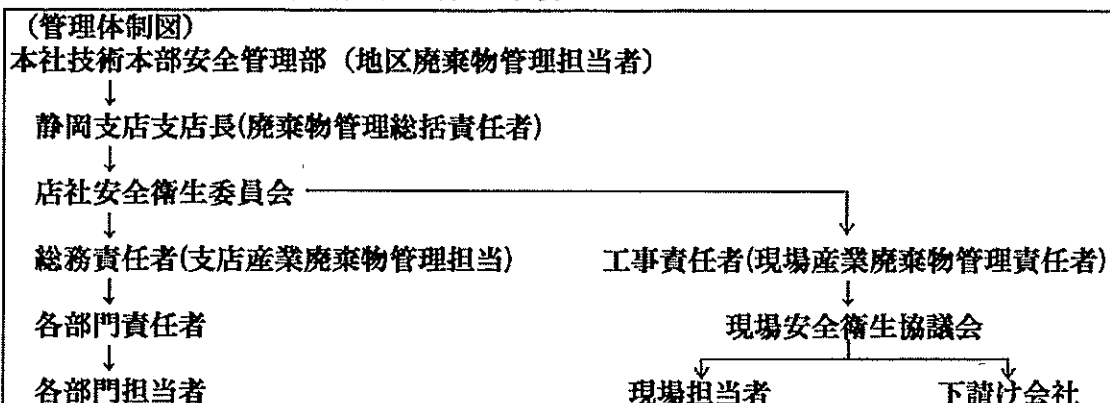
単位 t

産業廃棄物の種類		廃プラスチック	廃プラ (石炭含む)	金属くず	ガラス 陶磁器	ガラス 陶磁器 (石炭含む)	ガラス 陶磁器 (水銀含む)	がれき類	がれき類 (石炭含む)	紙くず	木くず	繊維くず	汚泥	廃油	混合廃棄物/ 副産物類	炭石類等/ 特定廃石類等	合計
令和4年度の実績	①排出量	119.91	2.30	379.53	243.61	8.40	0.01	4,346.61	96.80	19.44	152.06	1.54	155.40	0.07	46.00	0.00	5,571.68
	②+⑤自ら再生利用を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑤自ら無回収を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑧全処理委託量	119.91	2.30	379.53	243.61	8.40	0.01	4,346.61	96.80	19.44	152.06	1.54	155.40	0.07	46.00	0.00	5,571.68
	⑩優良認定処理業者への処理委託量	75.11	2.30	38.28	147.13	8.40	0.01	2,746.37	96.80	9.90	118.20	0.79	91.20	0.07	26.00	0.00	3,360.56
	⑪再生利用業者への処理委託量	0.42	0.00	379.53	230.12	0.00	0.01	4,345.81	0.00	15.75	108.17	1.38	143.40	0.07	20.00	0.00	5,244.66
	⑬無回収認定業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑭無回収認定業者以外の無回収を行う業者への処理委託量	115.82	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.67	43.89	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	163.54

令和5年度 産業廃棄物処理計画 (目標)

産業廃棄物の種類		廃プラスチック	廃プラ (石炭含む)	金属くず	ガラス 陶磁器	ガラス 陶磁器 (石炭含む)	ガラス 陶磁器 (水銀含む)	がれき類	がれき類 (石炭含む)	紙くず	木くず	繊維くず	汚泥	廃油	混合廃棄物/ 副産物類	炭石類等/ 特定廃石類等	合計
令和5年度の目標	①排出量	107.91	2.07	341.57	219.24	7.56	0.009	3,911.94	87.12	17.49	136.85	1.38	139.86	0.063	41.40	0.00	5,014.46
	②+⑤自ら再生利用を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑤自ら無回収を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑧全処理委託量	107.91	2.07	341.57	219.24	7.56	0.009	3,911.94	87.12	17.49	136.85	1.38	139.86	0.063	41.40	0.00	5,014.46
	⑩優良認定処理業者への処理委託量	67.59	2.07	34.45	132.41	7.56	0.009	2,471.73	87.12	8.91	106.38	0.71	82.08	0.063	23.40	0.00	3,024.48
	⑪再生利用業者への処理委託量	0.37	0.00	341.57	207.10	0.00	0.009	3,911.22	0.00	14.17	97.35	1.24	129.06	0.063	18.00	0.00	4,720.15
	⑬無回収認定業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑭無回収認定業者以外の無回収を行う業者への処理委託量	104.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.30	39.50	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	147.17

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【令和4年度実績】		排出量 5,571.68 t
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照	
	① 排 出 量		
	(これまでに実施した取組) 1.住宅系新築工事における当社商品の工業化 ・梱包材を極力簡素化して現場納入を実施、及び梱包材の再利用 ・石膏ボードや瓦、内装下地材のプレカット化 2.建築系新築工事における1部工業化 ・外壁のパネル化		
②計画	【令和5年度目標】		排出量 5,014.46 t
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照	
	① 排 出 量		
	(今後実施する予定の取組) ・現場調達材やプレカットの精度向上を検討する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅系新築工事は13品目に分別 ・建築系新築工事は廃プラ、金属くず、木くず、紙くず、ダンボール、石膏ボード、ガラス陶磁器くず等5～7品目に分別している。
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状を継続し分別の精度向上を検討する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【令和4年度実績】		0 t
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照	
	② 自ら再生利用を行った + 産業廃棄物の量		
	⑧ (これまでに実施した取組)		
②計画	【令和5年度目標】		0 t
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照	
	② 自ら再生利用を行う + 産業廃棄物の量		
	⑧ (今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【令和4年度実績】		0 t
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照	
	⑤ 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		
	⑦ 自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量		
②計画	【令和5年度目標】		0 t
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照	
	⑤ 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		
	⑦ 自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量		
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【令和4年度実績】		0t
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照	
	③ 自ら埋立処分又は + 海洋投入処分を行った		
	⑨ 産業廃棄物の量		
(これまでに実施した取組)			
・実施していない			
②計画	【令和5年度目標】		0t
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照	
	③ 自ら埋立処分又は + 海洋投入処分を行う		
	⑨ 産業廃棄物の量		
(今後実施する予定の取組)			
・実施する予定は無い。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【令和4年度実績】		5,571.68t
	産業廃棄物の種類		種類・数量は添付別表を参照
	⑩ 全処理委託量		
	⑪	優良認定処理業者 への処理委託量	
	⑫	再生利用業者への 処理委託量	
	⑬	認定熱回収業者 への処理委託量	
	⑭	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・委託基準にしたがって処理委託基本契約の締結及び処理系統管理、マニフェスト発行など当社システムによる管理を実施。 ・可能な限り優良認定業者や再生利用業者への処理委託を行い、最終埋立処分量の低減をはかる。 ・委託業者の選定基準により書類・現地審査を実施し、合否の判定を実施している。現地確認も毎年継続して実施している。 			

(第5面)

②計画	【令和5年度目標】		5,014.46t
			種類・数量は添付別表を参照
	⑩ 全 処 理 委 託 量		
	⑪	優良認定処理業者 への処理委託量	
	⑫	再生利用業者への 処 理 委 託 量	
	⑬	認定熱回収業者 への処理委託量	
	⑭	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	
(今後実施する予定の取組)			
・委託基準管理事項の継続 ・可能な限り優良認定処理業者を選定し再資源化率の向上を 図る。 ・処理委託業者施設の定期現地確認を継続する。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。